

[別紙①]

第2学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

- 1 主 題 外国にルーツをもつ人々の思いについて考えよう
- 2 資 料 名 「声を聴こう」(兵庫県中学生用人権教育資料『きらめき』令和5年度版)
- 3 ね ら い 日本に暮らすあらゆる人が、違いを認め合いながら共に生きていく「多文化共生社会」をつくらうとする意欲を高める。
- 4 人権教育の内容 「市民意識」の醸成 3-(1)-ア
- 5 展 開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
<p>1 外国にルーツのある人の現状を知る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>みなさんの身近なところに外国にルーツのある人はいるだろうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常をふり返り、外国にルーツをもつ方々が身近にいることに改めて気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同級生 ・ トライやる・ウィークの事業所 ・ 身近な商店 ・ 町ですれ違う人や観光客 ○ 政府統計より在留外国人の数や資格、国内における実態を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎市多文化共生社会推進指針 (https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/040/567/sisin.pdf) ・ 出入国在留管理庁ホームページ (https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html) ・ 厚生労働省ホームページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_46961.html) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国にルーツのある生徒がいることを配慮する。また、家族や親戚に外国にルーツのある方がいる可能性があることも考慮する。 ○ ここでの「外国人」とは日本国籍をもたない人であることを説明する。 ○ 在留外国人の数や資格などを示す。 ○ トライやる・ウィークの事業所で、外国にルーツのある人と接した経験がある生徒がいるので、その生徒に具体的にどのような方がいたのかを聞く。
<p>2 事例について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国にルーツをもつ人が、なぜ日本に暮らしているのか、どんな思いや願いをもっているのか考える。 ・ まずは一人で考える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>外国にルーツをもつ人は、どんな思いや願いをもっているのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ① 「声カード」を受け取る。 ② カードを読んでその人の置かれている状況をイメージし、その人の立場になってみる。 ③ 各自、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに異なる声カードを配る。 ○ 学級の実態に合わせて、グループの人数や、使用する「声カード」を決める。 ○ カードの人物を自分に置き換えて考えるように声かけをする。 ○ 手引きにある「背景カード」を資料として各グループに配る。

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒から偏見に基づく意見（「○○人だから貧しい」など）が出された場合は、そうではない可能性があることを示し、実際にはもっと様々な声があり、多様であることを伝える。
<p>3 グループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3人のグループになり、それぞれの意見を述べ、他の生徒の意見を聞く。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>それぞれの事例について、グループで話し合ってみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループで意見交流をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 印象に残ったこと ・ どんな思いや願いをもっているのか ・ どうすれば願いを実現できるのか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ討議の様子を観察し、討議がうまく進行できていないグループには適宜支援を行う。
<p>4 クラスで共有し、確認する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>グループで話し合ったことを、発表してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級全体で、各グループで話し合ったことを交流する。 〈交流する内容の例〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ カードを読む ・ 印象に残ったこと ・ 願いや思い ・ どうすれば、願いを実現できるか 〈予想される生徒の反応〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のルーツを堂々と言えるような社会にする。 ・ さまざまな背景、文化を理解する、知る。 ・ 日本の制度に問題がある。 ・ 歴史的な背景があることに気付いた。 ・ 日本に住む外国人の意見を聞くことが大切。 ・ 身近にいる外国にルーツをもつ人との関わり大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各グループの発表に合わせて拡大印刷した顔絵や声カードを前に掲示する。 ○ 外国にルーツをもつ人が日本で暮らしている背景には、その人個人の事情だけでなく、日本の歴史や制度、その国との歴史的な関係などがあることを確認する。
<p>5 まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を通して気付いたこと、考えたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国にルーツをもつ人を「外国人」というくくりで見るとはではなく、一人の生活者として理解するために、自分がその立場になるとどう感じるか想像力を働かせることが大切であることを確認する。